

第4部 環境教育に関する研修会

1. 環境教育研修会（教職員） 平成19年8月28日実施

「ふろしきから環境教育を考える」

講師：「ふろしき研究会」代表 森田 知都子

どんな形の物でも包め、何度も使える。季節や状況に応じて色や柄を選んだり包み方を工夫して楽しんだりもできる。そんな風呂敷が見直され、ゴミ削減の切り札として脚光をあびている。研修会では講師の森田さんから風呂敷のいろいろな包み方を教えていただきながら、物を大切にする日本文化を再確認することができた。



2. 環境教育研修会（教頭・幼稚園主任） 平成19年11月12日実施

「化石からわかる恐竜時代の環境変化」

～今、恐竜時代の環境変化から学ぶ～

講師：福井県立恐竜博物館 主任研究員 後藤 道治

恐竜の絶滅は 6500 万年前の小惑星の衝突で絶滅したといわれているが、詳細に調べていくと、すでに 7000 万年ぐらい前から恐竜の種類数が減っているという。さらに惑星衝突のとき生じたとされるイリジウムに富む地層とそのあと多数の生物の死滅と関連するといわれる黒色の地層から恐竜の化石が出てこないということもあり、小惑星の衝突以前にすでに絶滅寸前で、小惑星の衝突はとどめをさしたに過ぎない、恐竜の衰退は気候変動が原因であると考える研究者もいる。

講演では、恐竜は姿を変え現在も鳥類として生き続けているという証拠をたくさん化石から説明していただいた。また、現在地球規模で起こっている環境変化に我々一人一人が何をすべきか話していただいた。



第5部 環境保全に主体的に取り組む教育センターをめざして

—教育センター環境マネジメントシステム（OCEC 版環境 ISO）の構築—

大阪市教育センターでは、「大阪市教育センター環境宣言」を発表し、省エネ、省資源などの環境に配慮した取り組みを推進しています。「小さなことでもいい、できることから確実に実行しよう」「義務的ではなく、工夫して、楽しんで取り組もう」と、平成 19 年度は7月からスタートし、成果をあげてきました。

1 ねらい

全国的に「学校版環境 ISO」の取り組みが広がってきています。ISO の考え方が環境教育推進に有効なのは、自分たちが主体的に取り組む環境保全行動の内容を自己宣言し、達成状況を検証し、さらなる保全行動の推進に生かすという、「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」や「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」に示される、環境マネジメントシステムの構築や人材育成の機能をもっているからです。

大阪市の環境教育を推進するには、その主管課である教育センター教育振興担当が「学校版環境 ISO」の考えに基づいて、各校園の取り組みの先行実践を示すべきではないかと考え、教育センターに勤務する者から環境保全のための具体的な行動計画を策定宣言し、「環境に配慮した教育機関、大阪市教育センター」をめざすことにしました。

（大阪市役所は ISO14001 を取得している。）

2 内容

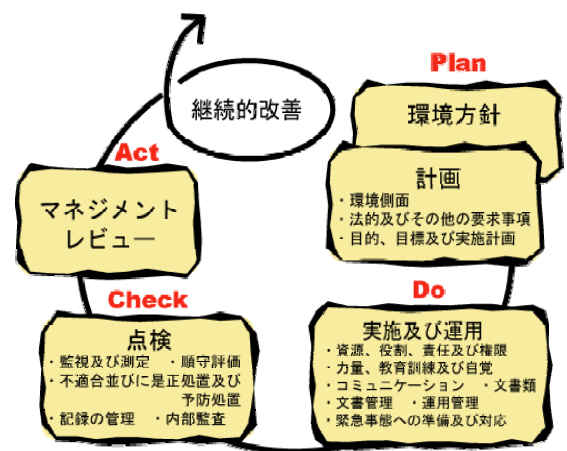
実施可能な環境保全行動の目標を「大阪市教育センター環境宣言」（次頁）にまとめ、それにもとづいて個人及びセンター全体で環境保全行動を進めています。達成状況を「環境マネジメント P J 通信」によって全職員が把握し、さらなる環境保全行動への意欲を高めて実行しています。

ISOとは

ISO とは、国際標準化機構 (International Organization for Standardization) の略称で、1947 年 2 月、スイスのジュネーブを本部として設立された NGO (非政府組織) で、製品規格、品質管理システム (ISO9000s)、環境マネジメントシステム (ISO14000s) などに関する国際規格の制定と普及を目的としている。国際標準化機構への加盟は 1 カ国から 1 機関に限定されており、日本では日本工業規格 (JIS) の調査・審議を行っている「日本工業標準調査会 (JISC)」が 1952 年に加盟している。

ISO14001とは

1992 年の「地球サミット」(地球環境会議) をきっかけとして規格策定が始まり、1996 年に制定されたのが、国際標準化機構 (ISO) が定める ISO14000s (シリーズ) 「環境マネジメントシステム規格」である。ISO14000s のうちの中核となる ISO14001 は、環境マネジメントシステム (EMS) をどのように構築すればよいかを定めた仕様書 (要求事項及び利用の手引) である。



環境マネジメントシステムのイメージ

大阪市教育センター

環境宣言

大阪市教育センターは、次の目標達成標語のもとに、環境保全行動に努めます。

「環境に配慮した教育機関 大阪市教育センター」

—やめよう 減らそう 無駄づかい 豊かな発想 確かな行動—

1 照明や空調等電気の有効活用など省エネルギー活動の推進

“ちょっとした心がけで -5%”

- (1) 空調適温化
- (2) 夏期エコスタイル（ノーネクタイ、ノー上着など）
実施期間：6月1日～9月末日
- (3) 未使用室の電灯OFF、未使用時のパソコン電源OFF
- (4) 階段使用の励行
- (5) 昼の休憩時間の消灯（1・2Fのフロアー、4Fは除く）

2 紙・水の有効利用など省資源活動の推進

- (1) パソコン利用による積極的なペーパーレス
- (2) 使用済み用紙の裏面使用や使用済み封筒の再利用
- (3) 両面印刷
- (4) 水の無駄づかいをやめる

3 ゴミ減量活動の推進と分別回収の徹底

4 グリーン購入の推進

5 環境啓発活動の展開



平成19（2007）年7月13日

大阪市教育センター

所長 後藤 幸雄